

研究名：小児 Chlamydia pneumoniae 感染症の臨床的特徴の検討

1. 研究の目的

2024 年から、日本国内の一部（東京都など）で、クラミジア肺炎の報告が増加しています。クラミジア肺炎は、これまで診断が難しく、小児のクラミジア肺炎の臨床像は、あまりわかっていませんでした。近年、フィルムアレイ呼吸器パネルが全国の医療機関に導入されるケースが増え、診断が用意になっています。この研究では、呼吸器検体から Chlamydia pneumoniae が検出された症例の臨床的な情報を収集させていただき、クラミジア肺炎の臨床的な特徴を明らかにすることを目的にします。

2. 研究の方法

・研究対象者：フィルムアレイ導入から 2026 年 3 月 31 日までの期間に、当院をはじめとするこの研究に参加する病院を受診した患者さんで、呼吸器パネルで肺炎クラミジアが陽性と診断された方。

・研究期間：研究倫理審査委員会承認後～2027/3/31

・研究方法：電子カルテ、細菌検査室のデータベースを用いて、患者さんの情報を収集し、解析します。

3. 研究で用いる資料・情報の種類

1) 患者背景

性別、生年月日、体重、入院日、既往症など

2) 現病歴

症状が出始めた日、受診目的、主な症状など

3) 来院時所見

バイタルサイン、中枢神経症状、酸素需要など

3) 検査結果

フィルムアレイの結果、クラミジア・ニューモニエ抗体価、レントゲン所見など

4) 治療

抗菌薬加療、呼吸補助など

本研究のために、追加で検査など侵襲的な処置が行われることはありません。

4. 資料・情報の公開

データは全て匿名化されるため、患者個人が同定される可能性はありません。研究結果は、学会や論文で公表する予定ですが、本人を特定できる個人情報公表することはありません。

5. 研究実施機関

東京都立小児総合医療センター（研究代表施設）

群馬県立小児医療センター、他（共同研究機関）

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない

範囲で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承をいただけない場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出下さい。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

- ・照会先・研究への利用を拒否する場合の連絡先
群馬県立小児医療センター 感染症科 清水彰彦
住所：〒377-8577 群馬県渋川市北橘町下箱田 779
電話：0279-52-3551
- ・研究責任者
東京都立小児総合医療センター感染症科 宮下晶